



～ 中学生が描く、みんなの未来の学校 ～

生徒会サミットを開催しました

8月3日(月)、市内4中学校の生徒会正副会長が一堂に会し、「生徒会サミット」を開きました。会のはじめには、各校の生徒会が日ごろの活動を紹介し合い、互いの活動の取り組みから刺激を受け、活発な意見交換ができました。

そのあと、市教育委員会から「須坂市がめざす小中一貫教育」と「須坂学園構想基本方針案」について、プレゼン説明しました。そして、グループごとに分かれてのディスカッションです。

「小中一貫の学校になると、どんなことができるだろう」「学園の校舎、施設はどんな環境がいいか考えてみよう」などについて、グループごとに意見交換をしながら、模造紙にまとめ、最後にグループ発表をしました。

中学生らしい夢とアイデアにあふれた声がたくさん生まれました。



グループ発表 ～こんな学校になったらいいな～

学年や世代を超えて、つながりたい (A グループ)

「たくさんの友達とレクリエーションで、コミュニケーションを深めたい」「学年や小中で縦割りに分かれてレクリエーションをやってみたい」など、みんなで交流できる企画のアイデアが出されました。

「私たち(中学生)が、小学生に勉強を教えるのはいい」という意見や「縦割り清掃を続けたい」「小学生と中学生がお互いに自由に遊んだり関わったりできる時間をつくりたい」など、小中のつながりを大切にしたい思いがあふれていました。

毎日の学校生活も、みんなで (B グループ)



「給食をみんなで一緒に食べたい ランチルームがあるといいな」という声のほか、「休み時間の長さが小中で違うので、その調整をしてほしい」という意見もだされました。

「制服はどうなるのかな？必要な時だけにして、普段はゆっくり過ごせるといい」といった、日々の学校生活をより心地よくするための提案も出されました。



人と人との関わりや、学びを広げたい（C グループ）

「日常的に英会話を楽しめる関わりがほしい」や、部活動について「小学高学年くらいから参加できるのもいいな」という意見が出ました。

「小中一緒の学園祭にしてみたい 小学校 中学校の文化祭をお互いに見合いたい」「小中で公開学習をやってみたい」といったアイデアもありました。

「教科書の内容だけでなく、自分が学びたい研究などに取り組める環境にしてほしい」という願いが出されました。



学園ならではの楽しい学びを（D グループ）

「人数が増えると、友達が広がるので、たくさんの人と教え合える、学園ならではの学習ができる」という声がありました。

「全校で体育館に集まって遊びたい」（スペースの工夫は必要かも、との気づきもありました）。
「給食を全員で一緒に食べたい」といった意見が出されました。



学園にこんな場所・設備がほしい

グループの話し合いでは、新しい校舎への期待や希望もたくさん出されました。

「フードコートがあったらいいな」

「休み時間を増やしてほしい」

「閉校した校舎を利用して職業体験をしてみたい」

「閉校する学校に泊ってみたい」

「自動販売機やエレベーターがあるといい。」

「体育館の設備で冷房があるといいな でもお金は大丈夫かな？」

「グラウンドを人工芝に」

「通学距離に関係なく、自転車通学を OK にしてほしい」など



夢のあるアイデアがたくさん出されました。小学生から中学生へ、そして地域へ、人と人とのつながりを大切にしたいという思いや、学びと交流の場を広げたいという願いが、中学生の発表から伝わってきました。

市教育委員会では、これからも子どもたちの声に耳を傾けながら、みんなで力を合わせて新しい学校づくりを進めてまいります。